

3期目への挑戦!!

ごあいさつ

日頃より皆さまには、ご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。早いもので2期目の任期が終わろうとしています。初当選から掲げてまいりました主な政策目標は、西尾市方式PFI事業の契約解除、一色町生田地内の産業廃棄物最終処分場建設計画の白紙撤回、三河湾の豊かな海づくり、防災・減災に強いまちなどでありました。西尾市方式PFI事業の問題では契約解除はしたが損害賠償額が未確定。産廃問題では事業者が事業転換を“ほのめかしている”が産廃最終処分場建設計画の「白紙撤回」は表明されていない。三河湾の豊かな海づくりでは下水道処理水の管理運転は継続しているが、あさりや海苔養殖などの好影響はまちまちで漁獲量も不安定。防災・減災対策では津波避難タワーは計画的に建設しているものの、集中豪雨に備えるべく水路や河川の改修、雨水排水対策は不十分。どれをとっても完全解決には至っておりません。今後とも継続的に取り組む必要があると考えております。また、地域に目を配り、行政へのパイプ役となって地域の課題や問題点に取り組むことは、初当選以来変わることはありません。今後も初心を忘れずに“ブレる”ことなく活動していく覚悟でありますので、皆さまのご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

プロフィール

昭和44年7月20日 西尾市一色町生まれ
 一色東部小学校・一色中学校・東邦高等学校 卒業
 平成6年 カネデン一色生鮮合資会社 入社
 平成26年 一色町生田町内会長
 平成29年 西尾市議会議員初当選
 令和元年 決算特別委員長
 令和2年 文教委員長
 令和3年 議員選出監査委員／企画総務委員
 令和4年 経済建設委員
 令和5年 副議長／厚生環境委員
 令和6年 文教交流委員／土地開発公社理事

私たちも藤井もとをおを
 推薦しています。

一色東部小校区
 コミュニティ推進協議会
 一色町生田町内会



藤井もとのお
 ぶじい



ブレない こびない
 逃げ出さない

1

安心・安全なまち

一色町生田地区における産業廃棄物最終処分場の建設計画は、事業者による不確実な事業転換は提示されたものの、処分場建設計画は「白紙撤回」されていません。いつ建設の申請が出されてもおかしくない状況です。

市民団体や地場産業団体と協同して、建設予定地が産廃処分場として適地ではないことを1人でも多くの皆さまに理解していただき、

処分場建設計画の「白紙撤回」を目指していきます!



産廃場建設
反対



2

三河湾・地場産業をまもる



かつて三河湾のアサリ漁は日本一の漁獲量を誇っていた。現在では最盛時の1割を満たさない漁獲量となっている。そのひとつの原因として、海水の貧栄養化があげられている。現在、県の下水道処理施設では処理水の栄養塩（窒素やリンなど）の濃度を上げて放水している。まだはっきりとした効果は確認されていないが、継続的に管理運転をすべきと考えます。

国・県と連携して水質改善や環境整備に努めます!

3

ゼロカーボンシティへ向けて



令和4年に西尾市は2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとすることを目指す「ゼロカーボンシティ」の宣言をしました。しかしながら、その対応は遅れていると言わざるを得ません。

全公共施設のLED化、再生可能エネルギーの導入、J-クレジットが活用できるための環境整備を推進していきます!

4

防災・減災対策

西尾市は南海トラフ大地震において、地震後約1時間で最大4.6mの津波が襲来し、市の約3分の1が浸水する可能性があり、愛知県沿岸部の中でも特に深刻な被害が想定されています。現在までに6基の津波避難タワーが建設されましたが、防災啓発などのソフト面も充実させていく必要があります。また、大型台風や集中豪雨に備え、水路や河川の改修など雨水排水対策を進めていきます。



議会における質問の議題

- ・一色町生田地区における産廃問題
- ・太陽光発電施設の設置について
- ・水産業の現状と対応
- ・施政方針について など

